

和歌山県 衆議院議員立候補者へのアンケート結果報告

- 調査主体** 子どもたちの未来と被ばくを考える会
 代表：芝野絢子・松浦雅代・松永久視子
 事務所：和歌山市三番丁6番地関西電ビル4F 金原法律事務所内
 連絡先・事務局：TEL&FAX:073-451-5960（松浦）
- 調査方法** 12月2日、選挙事務所宛に郵送により依頼。返送はFaxにて7日締め切り
- 質問** 別紙の通り
- 結果** 立候補者8名中6名の回答がありました。
 表の記載はFAXによる回答到着順。但し、門博文氏には事情により事務所受取りが遅延。

選挙区	氏名	政党	(1) 原発政策	(2) 健康管理
和歌山1区	岸本 周平	民主前	その他	その他
	国重 秀明	共産新	再稼働せず全廃	早急に必要
	門 博文	自民前	低減し保持	早急に必要
和歌山2区	富岡 清彦	共産新	再稼働せず全廃	早急に必要
	坂口 直人	維新前	再稼働せず全廃	早急に必要
	石田 真敏	自民前	回答なし	回答なし
和歌山3区	原 矢寸久	共産新	再稼働せず全廃	早急に必要
	二階 俊博	自民前	回答なし	回答なし

岸本周平氏の「その他」についての記述は、

- (1) ；東日本大震災以降の厳しい電力供給事情の中でエネルギー供給状態の不安定性や電力料金のさらなる上昇が想定。住民の同意と安全確認された原発の再稼働により、燃料費の負担増を回避。同時に再生可能エネルギーの導入の促進、エネルギー源の多様化を進め、2030年代末に原発ゼロを目指す。
- (2) ；子どもの心身のケアを長期的・継続的に行い、健康や将来に対する不安を払拭できるよう、子ども・被災者支援法に基づき、健康調査の強化などを進めます。こうした基本に立ってご提起の問題について検討していきたいと考えます。